

「企業紹介」に掲載しませんか？

新商品、新店舗などの紹介や販売店の募集、新業務分野でのパートナーの募集などを「企業紹介」に載せてみませんか？また、同内容は当社ホームページでもご紹介させていただきます。ご希望の会員様は、当社（0258-39-7302）までご連絡ください。担当者が取材に伺います。

地球環境の保全に取り組み 資源を大切に社会への転換を目指します



代表取締役社長 戸田 東一
〒946-0081 魚沼市葎沢204-8
TEL 025-792-0417 FAX 025-792-0463
<http://www.todagumi.co.jp/>

業 種：建設業
資 本 金：2,000万円
事業内容：土木・建築・造園工事、管・上下水道工事、
造成・解体工事、山林管理運営、建設資材販売、
土質改良工事、産業廃棄物収集運搬

建設業の使命を「地球環境の保護・再生」ととらえて、環境配慮事業に積極的に取り組んでいる(株)戸田組。近年では、建設発生土のリサイクル事業に注力し、環境の保護と資源の再利用に努めている。

山砂・山土の採取・販売を主体に成長

同社は、昭和33年に建設関連の運搬業者として創業。その後、建設用の山砂・山土の採取・販売に事業を広げた。高度成長期には建設需要の拡大を背景に業績を伸ばし、現在では、土木・建築・造園工事、解体工事なども行う有力な総合建設会社に成長している。

また、新しい時代の建設業の使命を「地球環境の保護・再生」ととらえ、道路の法面緑化、採取場の生態系保全、建設発生土の土質改良、廃材コンクリートのリサイクルなど、環境配慮事業にも積極的に取り組んでいる。



▲魚沼市にある本社建物

建設発生土の土質改良事業に注力

同社は、環境配慮事業の中でも建設発生土の土質改良事業に力を入れている。建設発生土とは、土木工事などの建設現場で発生する残土のことで、土質の軟弱性などの問題から、その多くが再利用されずに廃棄処分されている。

建設用の山砂・山土の採取・販売を主要な事業としている同社は、「山を切り開いて土や砂を採取する一方で、建設発生土の多くが廃棄処分されているのは環境保護面で時代に合わない」と考え、平成15年からリサイクル事業に参入している。

残土の発生する工事現場で直接、改良作業を行うことができる最新鋭の自走式土質改良機（「リテラ」）を先駆的に導入し、県内の同業者や大学などの研究機関とも共同で改良技術の研究を重ね、現在では、改良土の品質の向上により、着実にリサイクル受注を伸ばしている。



▲自走式土質改良機「リテラ」

地域貢献活動を積極化

同社は、地元の小学生向けの田植えや稲刈り体験、中・高生向けの建設業の職場体験など、地域貢献活動を積極的に行っている。近年では、その一環として森林整備に力を入れており、山歩き等を通じて地元の人々が山へ愛着を深められるよう、荒れた山林を切り開いて、歩道用の林道を整備している。

戸田社長は、「当社の方針は地域との共存共栄で、地域社会に貢献するのは当然のこと」「当社の活動により、地域の人々が地元への愛着を高めてくれればありがたい」と語る。



▲同社の森林整備を示す看板